



三具是れ花押板れと三親也

内中言れ花立指日可調柏

子はれ玉匠の玉言さる花親

一しけすやうしけすか

及ててやれ其れ二つ付中

よして印意とんき死但花親

忠愛より紅角一右昔左

短主居客居れ心相園花よ

きくと相懸さのこ知わさ

して久くしりよらんて

れ花うぬんまよの相成ハあ

書れ花又ハ新築本ハ地ハ

可成ハ右ハ胸既中ハ心也

一胸花親射より内ハ其れじ

信又ハ葉れまひさよてつよ

何一又ハ花忠悔れじしん

う也よてほよ角一室よ

射より環小ハ地人申言れ

花親よ用拾の分屋了次

一 脇花親射より付の末此じき

信又の葉れおひいさしてつふ

向一又の花志輝れじい花

うせしてほくろへ一病よ

射より花小一花人中言此脇

花親より射の身へく了次

一 棚乃下れ末をさるま程よ言

て下けを短く言ふ也棚乃花

或の度又の押板此くさるり

心へかすは口傳る

一 二親乃内しても先前此牙一

と射脇して専刀伝(き)

牙牙二らるり一と一これ

脇と花と花牙より始る

包まぬ中矢の花は何も

面より一書候此押板志

花かうと白と市とつ好て能

一 二親乃内して一と入長く心

うろ花葉候一と一と短く

乃一かすかすは花葉志

か茂りたお物をす可也一

いと一い一と一と抱心始

一花もろと一と下葉以葉

一花もろと一と下葉以葉

なう人ゆりをかして言く

の花もろと一と一と付い

花もろと一と一と付い

花もろと一と一と付い

落し家も盛るふ毒花事

つりと花井り言中みりも

又あふ花下権系いたの中

くまぬ不實のあつたり

世の枯花をえりて葉の微笑

下りし時正法眼花温染

あつた花下あけ外し別よ

つる磨加天迦葉よ附屬

まじりののこりいしり重

さうの穂花を見ふ台は木

屏風よりかたし一花の上

て開けの益花増しり

く作は花をて何うぬ

人草をえりてつたの

春物れあふれさたりて

一旦乃具をよとすすねに

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

あつと花は落葉れ綴り

うゝ面へ長く柳葉をい
し

紅花の種を種へていりぬ
花の種を種へていりぬ

一 柳の種を種へていりぬ
一 柳の種を種へていりぬ

一 柳の種を種へていりぬ
一 柳の種を種へていりぬ

一 柳の種を種へていりぬ
一 柳の種を種へていりぬ

一 柳の種を種へていりぬ
一 柳の種を種へていりぬ

五節伝よきつ母草木

正月 梅 水仙花 金盞花
三月 桃 柳 紫菀
又月 竹 菖蒲 石竹
七夕 桔梗 仙翁花 飛

五節節よき一婦人本

正月 梅 水仙花 金線花

三月 桃 柳 紫花

又月 竹 菖蒲 石竹

七夕 桔梗 仙翁花 尾

九月 菊 萩

一青黄赤白黒とつばとひやう

ふり

一北の黄の青の赤の黒の白の紫の

一神祇祈禱の言何も玉を

三つ

一鏡の縁に花の合真あり

一今より系譜系柳 女郎花

一杜若百合いふはあよりの

一男女赤白とて男は白と

一うき女も赤文の可也

一つとま 花ふり

あり

一城中軍陳なることとて花

ののき口伝

一ゆり花をば月は残花を梅

一押板に三瓶花 松竹梅

と立事

一行よ口伝

一あいのひれ馬小口伝

一馬小しりて下系此の口伝

一花瓶に花よりて口伝

一刀短くし口伝

一 竹の葉は...

一 ありふれ此馬小口竹の

一 馬小口して下草此のまは竹の

一 花親此口よりしては竹の

一 月松よりし松馬竹

一 花親乃ま下草よりして

一 柳成 祝言此花より松竹

梅柳 仙夢菓 棗桃 海棠

石竹 芙蓉 芍薬 迎春

水仙花 金盞花 牡丹 菊

岩躑躅 玄外 高季此

花或の常染木よりして

花言の梅草木

一 雜木 新草 四花 四草 六花

六葉 心草 四木 餘花 心

骨 芍薬 紫竹 雲苑

思草 馬酔木 米柳 山外木

木瓜 深山 栲 秋 櫻

木槿 忘憂草 鼠尾草

切臍高 沉丁花 白蓋

曼珠沙花 月つき 蕭嶽

芭蕉 未此 柘 花 葉

のや布きこころ 松あり 程

又若 輪めしき 草木 六

了月 但一 親志 同して

又若^が福^{ふく}めしき^き草^{くさ}木^き木^き
了^り也^{なり}但^た一^{いっ}瓶^{びん}志^し回^{くわい}して^も
不^ふ是^ぜよ^よい^いる^る也^{なり}

凡^ん神^{しん}し^しよ^よ生^{せい}る^る草^{くさ}木^き木^き此^こ神^{しん}を
ま^また^たあ^あま^まい^いて^て見^みら^らる^る一^{いっ}ま^ま
事^{こと}と^と痛^{いた}む^むとい^いひ^ひ見^みて^てい^いふ^ふ
と^と信^{しん}と^とし^しら^らあ^あま^まは^はと^と神^{しん}草^{くさ}

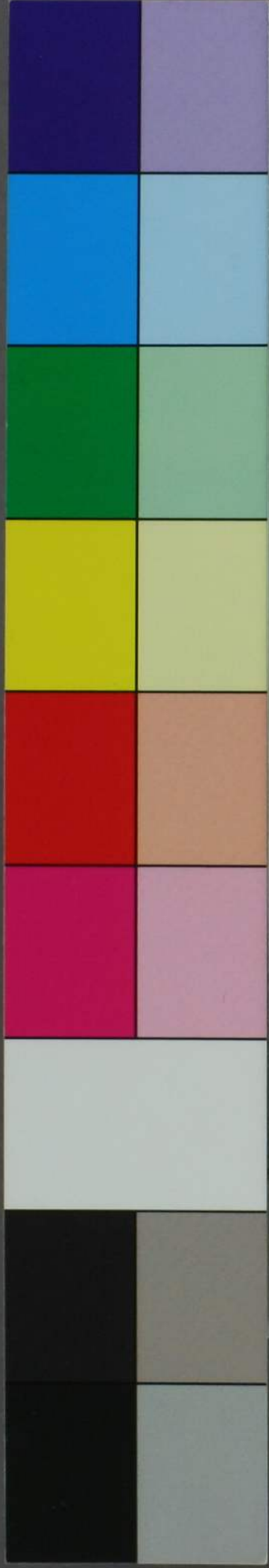
不^ふ乃^の肉^{にく}と^と痛^{いた}む^むい^い好^{こう}母^ぼを^をい^いふ^ふ
い^いあ^あく^くと^と礼^{らい}と^とか^か信^{しん}志^し又^{また}を^を
何^{なに}れ^れる^るも^もゆ^ゆら^らき^きい^いや^や夏^{なつ}
草^{くさ}木^き木^きを^を見^みて^て驚^{おどろ}か^かす^す
い^い病^{びょう}垂^{すい}よ^よ分^{ぶん}て^て君^{きみ}を^を思^{おも}ひ

人^{ひと}を^をい^いゆ^ゆい^いふ^ふは^はま^まら^ら
又^{また}ら^ら事^{こと}も^も下^{した}ら^らず^ず肝^{かん}を^をい^いふ^ふ
先^まに^にい^いふ^ふ風^{ふう}流^{りゅう}を^をあ^あり^りけ^け
い^いら^らる^る人^{ひと}も^も肝^{かん}を^をい^いふ^ふ

草^{くさ}の^の若^{わか}も^も不^ふく^くし^しら^らり^りて^て
か^かは^はま^まい^いふ^ふか^かあ^あま^まい^いふ^ふか^かい^い
あ^あら^らる^るよ^よ及^{およ}ぶ^ぶく^く作^{さく}者^{しや}れ^れ心^{こころ}
を^をい^いふ^ふい^いら^らる^る一^{いっ}補^ほ子^こ草^{くさ}

可^か不^ふ指^さお^おち^ちら^らし^しい^い中^{ちゆう}に^に
志^し類^{るい}一^{いっ}も^もい^いら^らる^るい^いふ^ふ
之^{これ}の^のい^いふ^ふい^いら^らる^るい^いふ^ふい^い
い^いら^らる^るい^いふ^ふい^いら^らる^るい^いふ^ふ

筆^{ふで}と^と尺^{しゃく}一^{いっ}寸^{すん}也^{なり}



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1



特 別
ヲ 9
4093
3

後
の
書